

大阪広域水道企業団経営・事業等評価委員会 第1回阪南水道事業料金検討部会（概要）

開催日時：令和7年3月31日（月）14：30～16：30

場所：阪南市防災コミュニティセンター（阪南まもる館）

出席委員：鍬田部会長、川原委員、森下委員、木村委員、石本委員

1 議事

（1）水道料金の検討について

2 議事概要

（1）水道料金の検討について

事務局から、水道料金の検討について説明があり、それに対し次のような意見、質疑応答があった。

1. 現状分析について

【部会長】

阪南市の水道は、高台に住宅を開発してきた経緯もあり、配水池等の水道施設が多く点在し、高い所まで水を送るためにはポンプが必要で電気を使う。維持管理費用が多くなりやすいといった特徴があると思う。

【委員】

自分たちが住んでいる地域の水道の現況や水道を送り続けるに当たり、今後、水道料金が足りなくなり値上げが必要になること、値上げをしたら水道がこのような状況になるということを市民が理解できるように議論を進めていければ良いと思う。

【部会長】

阪南水道事業は管路経年化率（法定耐用年数を超えた管路延長の割合）が高く、耐震化も進んでいない。住宅開発に係る拡張を進めたときのままとまっているのか。ある程度計画的に更新を行っているのか。10年後の管路経年化率はどのような状況なのか伺いたい。

【事務局】

これまでは主に漏水に係る修繕工事を中心に行ってきた。今後は基幹管路や重要給水施設への管路の更新などの事業を計画的に実施する。計画どおり更新、耐震化を行うことができれば、今後10年間、管路経年化率はほぼ横ばいとなる見込みである。

【委員】

今後、人口減少により給水収益（水道料金収入）は減少していくとの説明があった。この部会では、このような現状と今後の見通しから水道料金の値上げが必要という検討を行うのか。または、人口減少や地下水汲上げの対策などを抜本的に解決するための検討を行うのか。

【事務局】

本部会では、人口減少をどうするかなどの抜本的な解決に向けた議論をするのではなく、現状を踏まえて、今後の水道施設の維持管理や耐震管率を上げるため更新・耐震化工事を進めるに当たり、概ね5年程度の間、どれくらいの水道料金の額で、どのような料金体系であ

れば賄うことができるのかを議論していただく。その議論においては、阪南市の計画との整合性なども確認しながら進めていく。

次回以降の部会では、どれくらい給水人口が減る見込みなのか、どのような投資（工事）をして、どれくらいの費用がかかるのか、その財源を確保するためにはどの程度の給水収益が必要なのかなど、具体的な数値をお示しながら説明したい。

【委員】

次回以降の部会では、今回の現状分析に加えて、耐震管率や耐震適合率を改善するために行う中長期的な投資計画をわかりやすく示してほしい。今後、どういう方向に向けて、どれくらいのお金が必要で、どれくらい足りないということを認識する必要がある。また、投資を進めると企業債残高の増加が見込まれると思うが、減価償却費は手元のキャッシュとして使用できる。この辺りをキャッシュフローベースでお示しいただきたい。

給水人口については、国立社会保障・人口問題研究所の推計値よりも減少することも想定し、阪南市の現状の減少率を踏まえた計画が大事となると考えている。

一概に法定耐用年数を超えた水道管は、すぐに更新しなければならないわけではないとのことだが、阪南市の管路経年化率が健全かどうか他市町村と比べてみたいと思う。

【事務局】

投資計画はわかりやすくお示しする。

経営シミュレーションはキャッシュフローを含めてお示ししていく。

給水人口については、国立社会保障・人口問題研究所の推計数値も参考にしながら、現状と乖離がないか点検を行った上で、将来の動向をお示ししていく。

【委員】

管路更新率（1年間に更新された管路の延長を管路総延長で割った割合）は何%程度か。1%だと100年を経て全部を入れ替えるという状況になる。

【事務局】

令和5年度は1%程度、令和4年度は0.3%である。今後、計画的に更新する管路の延長を増やしていく。

【委員】

計画的に実施していくとのことだが、その計画はどれくらいの水道料金になるのかと表裏一体での議論が必要と考えている。

【事務局】

これまでどのような事業を実施し、今後はどのような方針で事業を実施するかについては、次回以降の部会で説明する。

2. 水道料金の体系等について

【部会長】

水道料金請求件数では家事用が96%と大部分を占めているが、給水収益でみると家事用の割合が78%となることから、一定大口利用者による負担が大きいことがわかる。また、単身世帯が増えたり、世帯の構成人数が減ってきているため、水の使い方にも変化があると考えている。阪南市も高齢化が進んでいる中で、長期的に水道を使っていくため、どのような水道料金のあり方が良いのかを含めて、次回以降議論していきたい。

【委員】

基本料金と従量料金について説明願いたい。

【事務局】

家事用で説明すると、基本料金には基本使用水量が設定されており、使用水量が 8 m³までは使用水量にかかわらず同じ料金である。使用水量が 8 m³を超えると従量料金がかかり、使用水量に応じて料金が増えていく。

【委員】

基本料金と従量料金の両方を改定することを検討するのか。

【事務局】

両方を改定することについて検討したい。

使用水量が少ない使用者や普段全く水を使わない使用者についても、いつでも水を送ることができるよう維持管理や毎月の検針費用がかかっており、一定、基本料金のウエイトを高められないかという考えもある。具体的な検討は次回以降3回目の部会を考えている。

3. 水道料金の全国的な動向について

【委員】

用途別を維持するのか、口径別に変更するのか、基本使用水量をどうするのかといった料金体系全体を今後検討していくのか。

【事務局】

料金体系全体を検討する。口径別への変更や基本使用水量を0にするという考え方があるが、変更を検討する場合には、変更による支障があるかどうかも含めて検討する。

【委員】

阪南水道事業は給水原価が他団体と比較して高く、料金回収率は令和5年度で97.9%と100%を下回っている。現状、給水原価を全て水道料金で賄えていないが、どれくらいの料金回収率を目標としているのか。長期的な投資計画とあわせて給水原価や料金回収率の目標を示していただき、議論していくべきだと考える。

【事務局】

給水原価や料金回収率をあわせてお示しする。

【委員】

水道事業は、独立採算・受益者負担が原則だが、実態としては水道料金で給水原価を賄えておらず、国補助金などで当期純利益はあるが年々減っていく。また、その利益を留保し翌年度に使える手元資金も減り、財務体質が危険な状態になっていく。水道事業は下水道事業のような基準の繰入金がないので、料金回収率のことは市民にもご理解をいただきたい。

また、今回の部会資料の概要版（資料1）では、収益的収支に焦点が当たっているので、資本的収支や留保資金の状況などが見えない。

市民に説明するときには、財務体質はどうか、留保資金も含めて阪南水道事業の全体像をできるだけわかりやすく示してほしい。

【事務局】

紙面の関係もあり、概要版はコンパクトにしたところもある。本編（資料2）では資本的収支の状況や前年度からの資金の動きなどを記載している。ご意見のとおり、市民に説明するときは、わかりやすい資料を作成したい。

【委員】

宅地開発や新規企業立地はないことを前提に料金改定の検討をするのか。基本的には現状通りか。今後は阪南市に大規模な宅地開発などはないと思われるがどうか。

【事務局】

阪南市とも情報共有を図りながら、経営シミュレーションを行っていくが、現時点では特に大きな宅地開発等があるとは聞いていない。

【委員】

例えば、有収水量及び給水収益の推移のグラフについては、令和 2 年度及び令和 4 年度の新型コロナウイルス感染症に関連した基本料金の減免はなかったものとして作成する方が、給水収益の推移を把握する上ではわかりやすいのかもしれない。

【事務局】

市民への説明に用いる資料には、委員の皆様からいただくご意見やご指摘を反映し、わかりやすくなるように作成したい。

【部会長】

現在、企業団は大阪府の半分くらいの市町村で、直接、各家庭まで水を供給しているが、それぞれの市町村の料金体系を引き継いで運営している。企業団としては、ある程度同じような料金体系にしていきたいという考えもあると思う。阪南市もその過渡期にあると思う。これまでとは違うということもあるかもしれないが、企業団が多くの市町村の水道事業を担っているということも踏まえて、なるべく全国的なスタンダード、もしくは企業団のスタンダードに沿うような料金体系を検討していきたいと考える。

【委員】

将来を考えるとわかりやすい料金体系を検討していくことが大切だと思う。

【委員】

市民は検針のときにポストに投函してくれる紙を見て、基本料金がどれだけかなど水道料金の仕組みまでを知らずに支払っていると思う。なぜその水道料金になるのか市民が納得できるように説明していただきたい。

【事務局】

水道料金の計算方法なども織り交ぜて、市民には丁寧に説明したい。

【部会長】

市の政策もあり、水道料金を上げにくい自治体も全国にはある。市とは独立した企業団であるからこそ、適正な水道料金について議論できればと考えている。

【部会長】

事務局には、本日いただいた各委員のご意見を踏まえ、今後の資料作成をお願いしたい。